

事業概況 (連結)

当期の概況

当社は当期より「ヤマトグループ新生進化3か年計画」をスタートさせ、グループ企業全体の業績向上を目指し、積極的な企業活動を展開しました。

宅急便、「クロネコメール便」など、既存商品については、更なる品質向上に努めるとともに、情報システムの抜本的な再構築や、営業所の多店舗化を推進するなど、顧客の利便性の向上に取り組みました。また、それぞれの事業で新規顧客との取引拡大をはかるなど、収益の向上に努めた結果、営業収益は前期比4.3%増の9,721億35百万円となりました。

経常利益は前期比7.5%増の584億92百万円となりました。また、当期純利益は、厚生年金基金の代行返上益を計上したことなどにより前期比76.3%増の485億1百万円となりました。

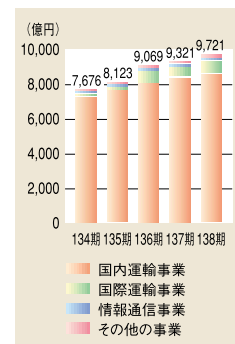
次期の見通し

「ヤマトグループ新生進化3か年計画」の2年目を迎える平成15年度は、引き続きグループ各社の経営資源や機能を組み合わせ、魅力ある商品の開発と高品質のサービスを実現し、併せてコスト競争力を強化するなど、業績の向上に努めていきます。

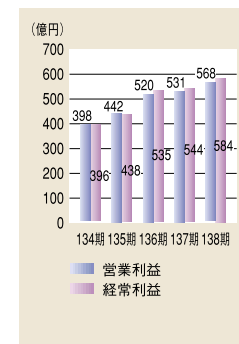
宅急便業務については、本年4月より宅急便再構築の一環として、エリア・センター制を導入し、お客様のより近くに拠点を設置することで、サービスをさらにきめ細かく提供しつつ、事務を集約するなど経営の効率化を進めていきます。「クロネコメール便」につきましては、本年4月1日にお客様のニーズに合わせたより小さなサイズを新設するなど、リニューアル発売をし、品質の向上と今後の収益拡大に努めます。

なお、ネットワークの更なる強化と効率化をはかるため、本年4月1日付で、子会社の九州ヤマト運輸株式会社と四国ヤマト運輸株式会社をそれぞれ吸収合併するとともに、ロジスティクス事業の一部を会社分割し、ヤマトロジスティクス株式会社に、海上フォワーディング事業、通関事業、美術品輸送事業ならびに国際引越事業を会社分割し、ヤマトグローバルフレイト株式会社にそれぞれ承継させました。また生活者向けサービスを強化し、引越事業を効率よく運営するため、引越事業を会社分割し、地域ごとのヤマトホームサービスへ承継させる予定です。

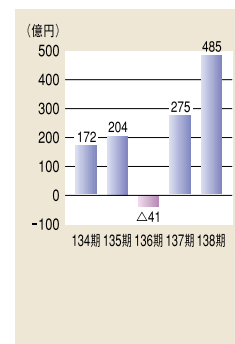
① 事業別営業収益



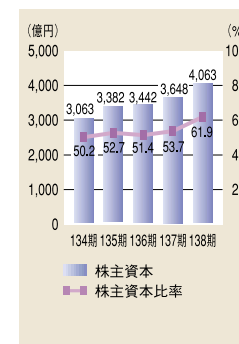
② 営業利益/経常利益



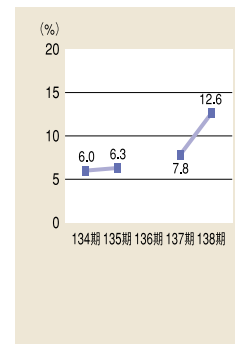
③ 当期純利益



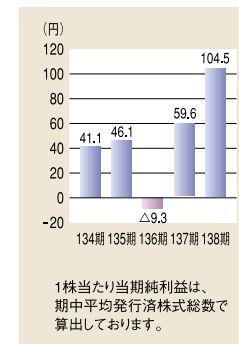
④ 株主資本/株主資本比率



⑤ 株主資本当期純利益率(ROE)



⑥ 1株当たり当期純利益



1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数で算出しております。